

「情報システム最適化の取組方針（第2期）」の概要

1 趣旨

道では、これまで「情報システム全体最適化の取組方針」（取組期間：平成25年度～平成29年度）に基づき、情報システムの統合や機器の共通化などに取り組みながら、情報セキュリティの向上や情報システムの整備を着実に進めてきたところであるが、ICTを取り巻く環境が大きく変わる中、情報システムの質を更に高めるとともに、ICTの積極的な利活用を推進することで、道民への行政サービスの一層の向上を図ることを目的として、「情報システム最適化の取組方針（第2期）」を策定する。

2 これまでの取組

- **取組期間**：平成25年度～平成29年度（5年間）
- **対象**：道（警察本部を除く。）の情報システム及びパソコン
- **位置づけ**：「新たな行財政改革の取組み」の一つ
- **目的**：
 - ・ 庁内の情報システムの統合・効率化を進め、道全体のIT関連経費の縮減を図る。
 - ・ セキュリティの向上や技術進歩などに対応した情報システムの着実な整備・更新、安定的なシステム運用に努め情報システムの機能や性能の向上を図る。

○ **取組と成果**

- | | |
|--------------|---|
| ① IT予算の一元化 | 14システムの予算・契約の一元化により、運用水準の平準化、予算や調達経費等を適正化。 |
| ② ネットワークの統合 | 北海道総合行政情報ネットワーク、北海道高速情報通信基盤（赤れんがギガネット）、建設部ネットワーク、道税ネットワークなどの回線統合により、高速化による利便性の向上、経費を低減。 |
| ③ サーバーの最適化 | クラウドサービス利用を推進し、情報セキュリティの向上、職員の負担を軽減。 |
| ④ 個別システムの最適化 | 情報システム診断により、機能や運用水準の平準化とともに予算や調達経費等を適正化。 |
| ⑤ 大型汎用機の最適化 | サーバー環境への移行を開始し、調達経費を低減。 |
| ⑥ パソコン調達の一元化 | 本庁地区のパソコン一括調達により、調達経費を低減。 |

○ **課題**

- ① 情報システムの質の一層の向上（情報セキュリティと利便性との両立）
- ② 未電算業務のICT利活用（ICT利用で効率化される業務の掘り起こし）
- ③ ICT技術の積極的な活用（働き方改革の推進、AIなど新しい技術への対応）
- ④ 情報システムの運用能力の向上（問題点の確認、情報システムや業務の改善）
- ⑤ 費用対効果の観点の強化（導入効果の検証）

これまでの取組と課題を踏まえた上で、環境変化への対応

情報システム最適化の取組方針（第2期）の策定

3 「情報システム最適化の取組方針（第2期）」の性格

- **取組期間**：平成30年度～平成33年度（4年間）
- **対象**：道（警察本部を除く。）の情報システム及び関連機器並びに情報システムが取り扱うデータ等（予算付けのないシステムも含む。）
- **位置づけ**：
 - ・「北海道ICT利活用推進計画」を踏まえた、道の情報システム最適化の取組方針
 - ・「行財政運営方針」の推進事項の一環として策定した「ICTの利活用による業務の効率化等に関する基本的な方向」と連携しながら、取組を進める。
- **目的**：

利用者側の視点を十分に踏まえたサービスデザイン思考に立って、情報セキュリティ対策と利便性を両立させながら、情報システムの質の向上を図り、道の施策・業務の効果を一層発揮させることで、「道民への行政サービスの向上」を図る。

4 全体イメージ

情報システム最適化の取組方針（第2期）

【庁内情報システムの現状と主な課題】

- これまでの情報システム全体最適化の取組には一定の成果
- 情報セキュリティ対策と利便性の向上との両立が課題
- ICTを利活用することで効率化される業務の掘り起こしが不足
- 職員による情報システムの運用能力の向上が必要
- 情報システムの費用対効果

情報システムの質の向上

- **情報システムの利便性向上**
(操作性や機能向上)
 - ・インターネット接続環境
 - ・各庁内システムの利便性向上など
- **情報セキュリティ対策**



ICTの利活用推進

- **未電算業務のICT利活用推進**
 - ・業務棚卸し・BPR
 - ・情報化相談窓口
- **政策立案等におけるICT利活用推進**
 - ・データ棚卸し
 - ・データ取扱いレベル整理
 - ・庁内データ共有台帳
 - ・各種データの活用促進
- **インターネット公開系のICT利活用推進**
 - ・オープンデータ化・電子申請
- **様々なICT技術の活用検討**
 - ・テレワーク・モバイルワーク
 - ・タブレットなど新たな端末環境
 - ・Wi-Fiなど通信環境
 - ・AIなど新技術の調査・活用検討

全体最適化

- **情報システム診断**
 - ・予算前
 - ・調達前
 - ・構築時（レビュー）
- **ICT予算の一元化**
 - ・大規模システム等の予算
- **ネットワークの最適化**
 - ・利便性向上
 - ・インターネット接続環境
 - ・個別システムNWの道庁行政情報NWへの統合
- **クラウド・バイ・デフォルト**
- **サイジングの最適化**

業務の効率化・情報セキュリティレベルの向上

道民への住民サービスの向上！

5 取組内容

○ 情報システムの質の向上

- ・情報セキュリティレベルを下げることなく、インターネット利用環境の利便性の向上や、情報システムの操作性・機能の向上等を推進

情報セキュリティ対策と利便性の向上の両立

- ・インターネット接続系・道庁行政情報ネットワークの利便性向上
- ・庁内情報システムの利便性向上

○ ICT の利活用推進

- ・未電算業務の情報システム化など、ICT 利活用を積極的に推進

未電算業務の ICT 利活用推進

- ・業務の棚卸、分析、システム化検討
- ・情報化相談窓口の創設

政策立案等における ICT 利活用推進

- ・データの棚卸、取扱整理
- ・庁内共有手段の整備
- ・各種データの活用促進

インターネット公関係の ICT 利活用推進

- ・オープンデータの推進
- ・電子申請できる手続の拡充

様々な ICT 技術の活用検討

- ・テレワークの導入検討
- ・モバイル端末などの利用検討
- ・Wi-Fi など通信環境の利用検討
- ・AI など新たな技術の調査・導入検討

○ 全体最適化

- ・全体最適化の観点から、業務所管課の取組を支援

情報システム診断（予算前、調達前、構築時）

ICT 予算の一元化

- ・大規模システムや重要システム等の維持に係る要求額の取りまとめ
- ・情報システム全体の総括・調整
- ・パソコン調達の一元化の継続

ネットワークの最適化

- ・個別システムが既存ネットワークを利活用できる環境づくり
- ・職員の利便性や作業の効率を高めるためのネットワーク環境の改善

クラウド・バイ・デフォルト

- ・クラウド利用の推進による職員の負担軽減、費用の平準化と低減
- ・情報セキュリティの確保

サイジングの最適化

- ・汎用機プログラムのサーバー環境への移行の継続
- ・操作性、利便性の向上